



令和7年度第1回学校運営協議会（CS会議）開催

令和7年5月22日（木）14：35より上山中学校で開催されました。

《 第1部 》 授業参観（6限）

《 第2部 》 運営協議会



〔1〕開会のあいさつ 山崎 光子 会長

3年生の総合学習の授業でお話させていただきました。その場は子ども達も教職員の皆様も学校全体で何かをやっていこうという雰囲気に満ちておりました。私達メンバーが地域や学校や子ども達とどのように関わっていけるのか、もう少し踏み込んだ形で進めるにはどうすべきか、熟議しなければならないと考えさせられました。

今日は学校の方針をお聞きしながら地域として何がやれるのか、意見を出しあって進めていきたいと思います。

〔2〕校長あいさつ 桑原 通泰 校長

昨年度末、上山中や地域の課題を共有させていただき、このたび3年生の総合学習での取り組みを考えました。今年度をスタートの年として、一つの目標としては10年後、今の子ども達が社会に出た時に上山中での体験を思い起こせるような取り組みを少しずつ発展させていきたいと思っています。

〔3〕運営協議会委員紹介

山崎 光子 会長	県人権擁護委員連合会会長	桑原 通泰	上山中学校校長
朝倉 奏 副会長	金寶寺住職	齋藤 大紀	上山中学校教頭
原 政之	鳥屋野地区公民館館長	倉島 庸子	上山中学校教頭
小野 照子	新潟市議会議員 鳥屋野小学校 CS オブザーバー	伊與部 直哉	教務主任
山岸 希	地区民生委員児童委員協議会会長 鳥屋野コミュニティ協議会副会長	新通 晋	生徒指導主事
阿部 洋一	上山中学校後援会会長 鳥屋野コミュニティ協議会会長	関谷 卓也	研究主任
上之山 剛	上山中学校区育成協会会長 上山コミュニティ協議会会長	奥山 貴生	事務主任
古俣 景子	上山中学校 PTA 会長	南 恵津子	CS 事務員
		小林 洋子	CS 事務員

〔4〕地域と学校パートナーシップ事業 小林 地域教育コーディネーター

今年度の地域と学校パートナーシップ事業の実施計画を説明した。「地域貢献活動」に重点をおき、地域と学校をつなぐ活動をさらに進めていく。

〔5〕上山中学校の現状と課題

1) 学校運営の基本方針・教育ビジョンの説明（桑原校長）

～「令和7年度上山中学校教育ビジョン」参照

2) 学校教育ビジョン評価シートの説明（伊與部教務主任）

「自己有用感」を高めるための「地域貢献活動」「ボランティア活動」の活性化を重点項目の最上位にしました。

3) 今年度の重点事項

①地域連携・貢献活動

ア：国指定天然記念物「鳥屋野逆ダケの藪」を生かして
(CS委員)

地域の宝と言える逆ダケを通して、多世代に渡る交流と顔の見える関係づくりを進めたい。そして地域に残る伝統行事・文化の継承と地域役員の担い手の発掘にもつなげたい。

その一つとして竹灯籠を作り、地域に灯りを灯す活動を考えている。ぜひ中学生にも関わってもらいたい。

イ：3学年総合「かみスマ」上山 Smile Community

(松川3学年主任)

総合学習での課題追求活動を踏まえ、地域の様々な世代の人たちが交流し、参加した方々が「笑顔」になり「喜ぶ」ようなコミュニティの場を創造することを目指して、右記の企画を開催することにした。

②校則見直し・制服リニューアル（桑原校長）

文科省の指針を受け、一昨年度から取り組んでいる「生活のきまり（校則）見直し」について、昨年度の取り組みと今年度の見通しを確認した。その中で、生徒会役員選出等における「男女各1名」などの性別の枠をなくしていこうという取り組みを紹介した。それに類して、制服などのジェンダーレス化の必要性が話題となり、社会背景を含め、ジェンダーレスな制服についての勉強会の必要性を確認した。

〔6〕閉会のあいさつ 朝倉 奏 副会長

CS委員から提案された逆ダケの取り組みについて、地域で取り上げていただけるのは僧侶としてありがたいと思っています。親鸞聖人が竹杖を逆さまに地面に差ししたら、そこから逆ダケが生えたという物語ですが、現実的に考えるとありえない嘘だと思っています。しかし、門徒は親鸞聖人がこの地で浄土真宗の教えを説いたことを永く伝えていきたいと願って物語を作り、その思いが今日まで続いていると思います。中学生にも、どうしてこの物語が伝わっているのか考え、願いを受け止めて欲しいと思います。



「かみスマ」上山 Smile Community

〈期日〉令和7年9月20日(土)

〈会場〉上山中学校

〈活動内容〉

地域の方にお客様として学校にお越しいただく。子どもが楽しめるブースを設置する。